

## 1. テーマ設定の理由

昨年度の研究テーマ「十和田湖観光の歴史」を調査する中で、十和田湖という名称の由来がアイヌ語であることを学ぶことができた。このことから地名に興味を抱き、今回のテーマ設定に至っている。本校が所在する鹿角市は、「毛馬内」「大湯」「花輪」「尾去沢」「八幡平」などの地名が存在する。それらの由来を調べることで見えてくる鹿角の歴史や風土の特徴を研究していきたい。

## 2. これまでの取り組み

### ① グループ編成

- ・十和田①（毛馬内、瀬田石）
- ・十和田②（大湯、錦木）
- ・花輪・尾去沢①（柴平～花輪駅）
- ・花輪・尾去沢②（花輪駅周辺～尾去沢）
- ・八幡平

### ② 地名調べ

学校にあった鹿角市の地図をもとに、それぞれの地域で気になった地名をピックアップし、調査対象とした。

- ・十和田①：毛馬内、三ノ丸、蟹沢、陣場、瀬田石、草木など
- ・十和田②：腰廻、風張、荒瀬、錦木、湯ノ岱など
- ・花輪・尾去沢①：扇ノ間、寺坂、乳牛など
- ・花輪・尾去沢②：新田町、舟場町、谷地田町、六日町、合ノ野など
- ・八幡平：湯瀬、大里、小豆沢、石鳥谷、松館など

### ③ 調査活動

図書館の文献やインターネットなどを活用し、調査活動を行っている。

## 3. 今後の取り組み

- 文献をもとにした調査活動  
→他の地域との共通点を探る
- グループごとの発表会
- 研究発表会に向けてのまとめ